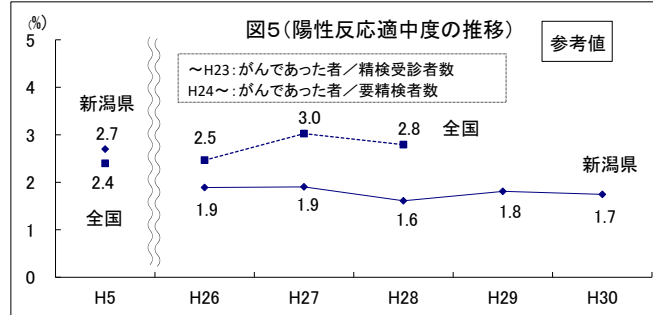
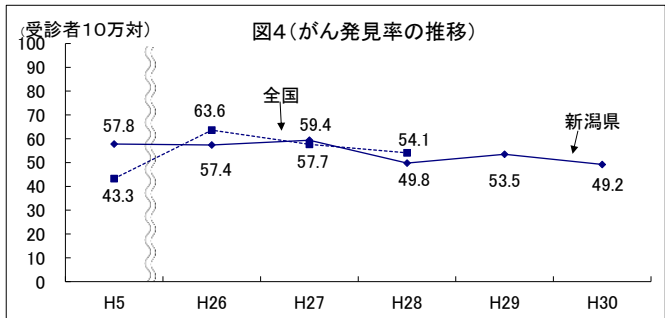
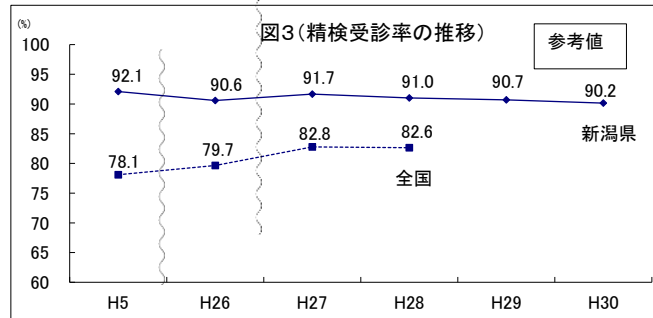
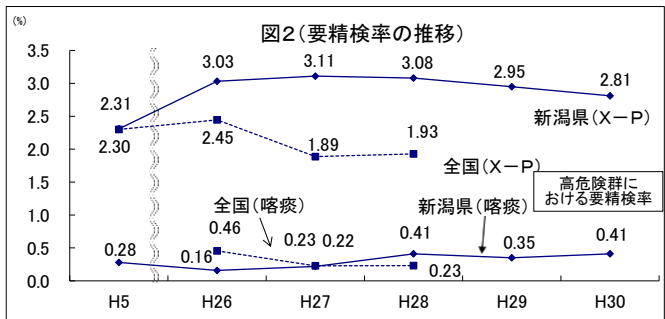
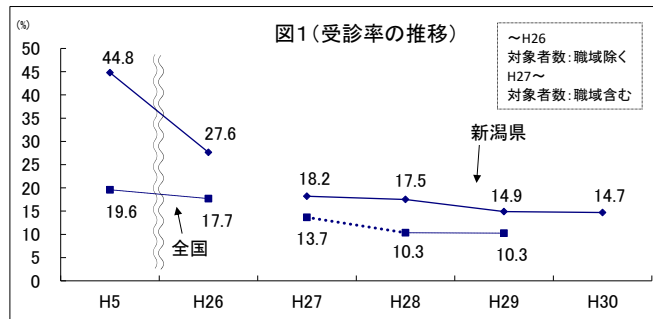


3 肺がん検診 肺がん検診結果の推移

		H5	H26	H27	H28	H29	H30
市部・受町診村状部 況別	対象者数	787,512	807,228	1,232,680	1,264,086	1,454,475	1,454,912
	受診者数	352,775	223,088	224,008	221,057	216,986	213,342
	受診率(%)	44.8	27.6	18.2	17.5	14.9	14.7
	市部対象者数	498,225	779,642	1,186,451	1,212,663	1,401,499	1,402,287
	市部受診者数	167,088	210,444	211,506	208,894	205,261	202,052
	市部受診率(%)	33.5	27.0	17.8	17.2	14.6	14.4
町村部	対象者数	289,287	27,586	46,229	51,423	52,976	52,625
	受診者数	185,687	12,644	12,502	12,163	11,725	11,290
	受診率(%)	64.2	45.8	27.0	23.7	22.1	21.5
胸部X線検査	胸部X線受診者数	352,577	223,088	224,008	221,057	216,986	213,342
	要精検者数	8,140	6,764	6,975	6,807	6,395	5,992
	要精検率(%)	2.31	3.03	3.11	3.08	2.95	2.81
	精検受診者数		6,208	6,461	6,272	5,862	5,450
喀痰細胞診	精検受診率(%)		91.8	92.6	92.1	91.7	91.0
	対象者数(高危険群)	43,397	35,099	32,937	33,407	33,302	32,749
	探検者数(高危険群)	21,144	6,299	5,363	5,316	5,091	4,637
	探検率(%)	48.7	17.9	16.3	15.9	15.3	14.2
	要精検者数(高危険群)	60	10	12	22	18	19
	要精検率(%)	0.28	0.16	0.22	0.41	0.35	0.41
発見方法別	精検受診者数(高危険群)		7	10	11	14	15
	精検受診率(%)		70.0	83.3	50.0	77.8	78.9
	がんであった者	204	128	133	110	116	105
	X線	178	125	125	108	111	100
がん発見率(受診者10万人対)	喀痰	20	0	1	1	3	3
	X線+喀痰	6	3	2	1	2	2
	一般群	33.6	37.2	39.3	31.6	40.6	34.5
	高危険群	229.7	165.2	166.3	147.5	121.7	127.7
がんの疑いのある者	精検結果不明者	83	269	301	311	354	272
	精検結果不明者	387	79	65	80	64	48
	精検未受診者	277	558	514	533	533	544



データ出典：新潟県『胸部検診結果報告』

厚生労働省『地域保健・老人保健事業報告』(～H19年度)

厚生労働省『地域保健・健康増進事業報告』(H20年度～)

注1) 報告市町村単位は、原則として毎年4月1日現在の市町村(年度中に合併した場合などを除く)

注2) 精検受診率(全国)の算出方法について

精検受診率(全国) = (要精検者数 - 未把握者数 - 未受診者数) / 要精検者数 × 100

注3) 新潟県の要精検(X線判定)の扱いについて

新潟県における要精検には、D及びEと判定されたものを含む。

なお、地域保健・健康増進事業報告上の要精検は、E判定のみであり、Dと判定されたものは含まない。

注4) 新潟県の要精検者数について、X線と喀痰のいずれも要精検であった者の実数が不明のため、参考値として下記のとおり扱った。

要精検者数 = X線要精検者数 + 喀痰要精検者数

精検受診者数 = 要精検者数 - (精検結果不明者数 + 未受診者数)

陽性反応適中度 = がんであった者 / 要精検者数 (H24～)

(～H23: がんであった者 / 精検受診者数)

注5) 図1(受診率の推移)のH27受診率について

H26年度までは、職域を除く対象者数を計上することとされていたが、H27年度からは

職域を含む対象者数を計上することとなった。(厚生労働省より)

これに伴い、H27の受診率はH26に比べ低くなっている。